

公益社団法人全国経理教育協会
簿記能力検定試験
— 令和6年度4月からの出題範囲変更 —

令和5年度まで出題していた伝票会計の大問は
下記のような形式に変更いたしますので、参考資料としてご覧ください。

(サンプル問題)

第◆問 次の仕訳をもとに、仕訳の対象となった取引あるいは決算手続きの内容として最も適切なものを1つ選び、番号を記入しなさい。

(1)

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	100,000	前払金	10,000
		当座預金	90,000

1. 商品¥100,000を仕入れ、代金のうち¥10,000は掛けとし、残額については現金で支払った。
2. 商品¥100,000を仕入れ、代金のうち¥10,000は掛けとし、残額については小切手を振り出して支払った。
3. 商品¥100,000を仕入れ、代金は先に支払っていた手付金¥10,000を差し引いた残額について、現金で支払った。
4. 商品¥100,000を仕入れ、代金は先に支払っていた手付金¥10,000を差し引いた残額について、小切手を振り出して支払った。

【標準解答】

第◆問 (1) 4

【出題趣旨】

本問は、仕訳をもとに、対象となる取引あるいは決算手続きの内容を推定する問題です。使用された勘定科目と記帳原則にもとづいて取引を推定することを通じて、帳簿記録と企業活動あるいは決算整理事項等との結びつきを理解しているかを問うています。

代金を一部前渡ししていた場合の、商品の購入に関わる仕訳です。取引の説明文は商品の購入を三分法で処理している点で共通していますので、代金の支払い方法を勘定科目から推定していきます。

以上